

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	張り合いのある生活支援 高齢になると共に出来ることが少なくなり、また、体を動かすことを億劫がられ、ベッドで横になったり、椅子に座ったままウトウトして過ごされる時間が長くなってきている。入所者全体の活動性が低下しつつあり、生活のメリハリ、張り合いが持ちにくくなってきている。	メリハリのある生活を送れるようにする ①一日のうちで、何かに集中出来る時を作る ②レクリエーションを充実させる	1本好きの利用者の為に本棚を設置する 2家族の協力を得て、図書をそろえる 3職員が図書館から本を借りてくる 6手芸等に職員も一緒に取り組む 7自由な空間をつくり、人目を気にせず好きな事が出来るようにする	6 か月
2	49	日常的な外出支援 施設は山間地にあり、車を使わなければ市街地への外出はできず、日常的な外出には困難が伴う。年間計画をたて全員での外出の機会を作っているが、現段階では個別の対応にまで手が回りにくい状況である。個別の対応には家族の協力が欠かせない。	利用者個人々の意思に沿った外出の機会を増やす 利用者家族による外出への支援体制を作る	1各人の外出希望を把握する 2家族の協力、理解を得て希望の外出先へ出掛けれるようにする 3家族へ働きかけて外出を手伝ってもらおう 4買い物、喫茶店、ファミレス等へ家族の同行をお願いする 5車を使わなくても行ける近場の散策をする(神社、グラウンド) 6地域散策を継続する	12 か月
3	2	事業所と地域との付き合い 子供会との共催で花火大会を行ったり、地域のイベント等への参加を通して地域との交流に心がけているが、いずれも単発的なものであり、日常的な交流とは言い難い。また、事業所からの発信も少ない。	地域との交流の機会を増やす ①事業所から出かける機会を作る ②事業所へ来ていただく機会を作る	1地域の行事(保育園発表会、運動会、祭礼、文化展他)に参加する 2施設での行事(演芸会、カラオケ他)への参加を近隣地域へ呼び掛ける 3ゲートボールに来所された方々と話す機会を作る 4施設の運営推進会議や避難訓練等に参加していただく 5町内会や地域女性会の集会に出席させていただき、施設の紹介をする 6町内の清掃、草刈り活動に参加する	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。